



庄内平野を一望する大森山のおすまや周辺で、関係者による記念植樹が行われた  
 山形新聞・山形放送  
 鶴岡市

**最上川さくら回廊**  
 山形新聞・山形放送8大事業

鶴岡、天童、米沢で植樹式

集い 育む 地域の絆

最上川を中心に美しい桜並木づくりを目指す山形新聞、山形放送の8大事業「最上川さくら回廊」の今年2回目の植樹式が1日、鶴岡市、天童市、米沢市の3会場で行われた。家族や仲間らと参加した計230人が、満開の桜を思い描きながら苗木52本を植樹した。

【ホームページに動画】このうち鶴岡市添川の大森山のおすまや周辺で行われた植樹式には、約90人が参加。主催者代表の門崎秀夫市藤島庁舎支所長が「植樹を契機にこの一帯が桜の名所となり、地域コミュニティの絆が一層深まることを期待する」とあいさつ。提唱者を代表し、桑嶋誠一山形新聞取締役庄内総支社長が「最上川さくら回廊事業は来年20年目を迎える。最上川沿いにつながる桜並木をつくるため、引き続き取り組んでいくのでよろしく願う」と呼び掛けた。

来賓の小野木覚出羽商工会長、小野由夫市議が祝辞を述べた後、参加者全員が見守る中、門崎支所長、桑嶋総支社長、小野木会長、小野市議らが記念植樹した。

今年の最上川さくら回廊事業はこの日が最終日。10月25日に山形市、長井市、最上町の3会場で植樹した分を合わせ、今年は計103本を植えた。事業開始の1996年から通算で4697本となった。

22、23面に特集